

**5月29日
臨時議会**

大津町一般職の職員の給与に関する条例の改正

(内容 人事院勧告に従い職員のボーナスを0.2月分減額する)

**賛成12人
反対3人 で可決**

討論

賛成

永田 和彦議員

現在の経済状況下で、人事院勧告の国家公務員のボーナスカットはあたり前のことである。公務員は全体の奉仕者であり特別な存在と考えるといけない。

地方公務員の給与は厳密に言えば自治体財政による算出が必要と考えられるが、国全体の財政事情と住民感情に配慮し人事院勧告に準ずるべきである。

反対

荒木 俊彦議員

人事院勧告はこれまで8月以降決められていた。

今回の前倒し給与引下げは、総選挙目当ての公務員たたきだ。国は景気対策で過去最高の15兆円の補正を組んだが大半は大企業、大金持ちへの優遇策だ。その一方で、時期を早めてまで公務員の給与を下げれば、民間の給与は更に下がって、景気と内需を冷やしてしまっただけである。

金田 俊二議員

町は人事院勧告をあくまでも尊重するとしているが、昨年の人事院勧告である勤務時間短縮については、まったく実施していない。これは公務員の労働基本権の制約の代償としての人事院勧告制度の根幹にかかわる問題である。

今回の条例改正の前に昨年出された勧告に基づく条例改正を行うか、今回同時に提案すべきである。

研修報告

議会広報編集特別委員会

江迎町の概要

○人口 5922人

○22年3月に佐世保市と合併予定

○広報誌の名称「えむかえ議会だより」

○創刊 昭和57年 現在109号

○議会定数 9人

○広報常任委員会 5人

○20年度町村議会広報全国コンクール優秀賞作品は、合併協議会を大きく取り上げ賛成・反対の意見を掲載。町営住宅家賃値上げ議案について質疑と答弁、討論、賛否の数までまとめている。町民に直接かわる問題を議会が真剣に議論した様子が伝わってくる。

○合併前の嬉野町では、数回全国コンクールで入賞。その伝統を受け継ぎ、毎号20ページを超える編集。フルカラー印刷で非常に読みやすい。市の広報コンクールがないのが残念である、と話された。

○大津町でも、技術をアップしながら発行日を早める努力が求められている。

嬉野市の概要

18年3月 嬉野町・塩田町で合併。

○人口 2万944人

○広報誌の名称「うれしの議会だより」

○創刊 18年4月 現在13号

○議会定数 22人

○広報委員会 6人

合併前の嬉野町では、数回全国コンクールで入賞。その伝統を受け継ぎ、毎号20ページを超える編集。フルカラー印刷で非常に読みやすい。市の広報コンクールがないのが残念である、と話された。

○大津町でも、技術をアップしながら発行日を早める努力が求められている。

過去の一一般質問の追跡記事「どうなったあの質問」や表紙の写真も入選の大きな評価となっている。



嬉野市議会広報の研修